

議 事 録

件 名	第29回児童虐待防止対策委員会	
日 時	令和5年4月19日(水) 14:00~15:30	
場 所	久留米市役所 16階会議室	
出席者	委 員	吉岡委員長、佐田副委員長、早川委員、古賀委員、麻生委員、緒方委員、河津委員、服部委員、西川委員、清水委員、椛島委員、田中委員、野口委員
	事務局	(家庭子ども相談課) 緒方補佐、佐藤(安全安心推進課) 豊福主幹、岡補佐
欠 席 者	重松委員	
傍 聴 者	なし	
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 報告事項 令和5年度の主なスケジュールについて</p> <p>3. 協議事項 (1) 令和4年度実績及び令和5年度方針案について (2) 3回目の認証取得に向けた本審査について</p> <p>4. その他 合同対策委員会の報告</p> <p>5. 閉会</p>	
事務局 (家庭子ども相談課)	<p>【開会】</p> <p>・委員長挨拶 ・委員自己紹介</p>	
事務局 (安全安心推進課)	<p>【報告事項】 令和5年度の主なスケジュールについて 説明</p> <p><質疑なし></p>	
事務局 (家庭子ども相談課)	<p>【協議事項(1)】</p> <p>令和4年度実績及び令和5年度方針案について 説明</p> <p><質疑応答></p>	
委 員 ①	令和5年度について、新生児訪問の地域連携は12校区に増えたと報告があったが、全体では何校区あるのか。	
委 員 ②	46校区。	
委 員 長	4月から増えた校区はどこか。	
委 員 ③	篠山、御井、鳥飼、上津、京町、安武、荒木、犬塚の8校区。	
委 員 ④	赤ちゃんふれあい体験事業も全体的に校区を拡げていきたいのか。	
事務局 (家庭子ども相談課)	拡げていきたいが、コロナの影響で学校や校区が消極的になっている。現在実施している学校では継続していく予定。	
委 員 ④	田主丸で良い取組と聞いているので、ぜひ続けてほしい。	

議 事 録

<p>事 務 局 (家庭子ども相談課)</p>	<p>【協議事項(2)】3回目の認証取得に向けた本審査について ①現地審査のスケジュール、②申請書、③プレゼン資料 説明</p>
<p>委 員 ①</p>	<p>＜質疑応答＞ 申請書について、質的成果として、体験することで自分も小さいときに大切にされたということが実感できたなどを盛り込んだらどうか。</p>
<p>委 員 ⑤</p>	<p>プレゼン資料について、追加した資料は、全体の流れからみて、今の位置ではないほうがいいのではないか。</p>
<p>副 委 員 長</p>	<p>組織図は最初のほうがわかりやすい。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>これらの意見を参考にして、市におまかせするというのでいいか。(一同同意)</p>
<p>事 務 局 (安全安心推進課)</p>	<p>【その他】 合同対策委員会の報告について 説明</p>
<p>委 員 ①</p>	<p>＜質疑応答＞ 今回セーフコミュニティのバッチをもらったが、ピンバッチだと女性は付けにくい。クリップどめや安全ピンなどほうが付けやすい。</p>
<p>事 務 局 (安全安心推進課)</p>	<p>セーフコミュニティでくるっぱの反射材ストラップを作っている。標語の応募者へのプレゼントとしているが、こういうものでも啓発をしていきたい。</p>
<p>委 員 ④</p>	<p>くるっぱとセーフコミュニティのマークを合体させて、久留米市独自のバッチが作れるのではないか。ネクタイピンみたいなクリップ式など。デザイナーに依頼するとか。</p>
<p>事 務 局 (安全安心推進課)</p>	<p>ご意見として取り入れる。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>【質疑・意見交換】 その他、全体として、何か質問や意見はないか。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>赤ちゃんふれあい体験事業は、初回から委員としてかかわっている。そろそろ江南中出身者などから「中学生の時に赤ちゃんふれあい体験を経験した」という声が聞こえてくる頃だと思ふし、聞きたいを思ふ。未来につながる取組にしていきたい。</p>
<p>委 員 ①</p>	<p>コロナ禍で自分の子どもの代は体験ができなかったもので、対象を拡げてもらいたい。小・中・高や地域などで拡げて、どういったらできるか。</p>

議 事 録

副 委 員 長	<p>中学校などは積極的な学校とそうでない学校がある。休校や学級閉鎖により授業時間がとれないなど、校長先生や中学校で考え方が違う。体験することにより本人の意識や考え方が変わってくる。全学校一律は難しいが、少しずつ取組を上げていきたい。</p>
委 員	<p>⑤ 教育委員会にいたときに、たしか三潞中の取組から始まり、その頃から良い取組であると聞いていた。おっしゃるとおり学校のカリキュラムの問題もある。昨年度にいた自殺防止対策委員会では、SOS の出し方教室などは手あげ方式ではなかなか名乗りが上がらないため、教育委員会として学校のカリキュラムとして教えていきたいと考えていた。各学校教頭が年間の学校のカリキュラムを組むため、事前準備で相談する方法もある。学校現場のことも考えて実施していただきたい。</p>
委 員	<p>④ 上からトップダウンで学校に言ってもらったほうが、迷っている学校も参加しやすいだろう。</p>
委 員	<p>⑥ 赤ちゃんふれあい体験事業は、地域と校区の善意で成り立っており、校区の参加してくれる子育て家庭の事情もあるので、いきなり全校区で実施とはいかないが、人形よりも本物の赤ちゃんとのふれあい体験のほうが良いため、ご協力いただける方々に配慮しながら取組を進めたほうがいい。</p>
委 員	<p>① 赤ちゃんふれあい体験では、赤ちゃんだけでなく妊婦体験もされているので、妊婦体験やお年寄り体験なども、子どもたちにいろいろな人の気持ちを分かってもらうのには良いと思う。</p>
委 員	<p>④ 男が妊婦の体験をするのは良かったと聞いた。</p>
委 員	<p>⑦ くるるんでは、夏休みに中高生へ向けて親子とふれあうボランティアを募集して行っている。昨年度も実施し定員も30名まで増やした。ぜひ利用してほしい。</p>
委 員	<p>⑧ 10年前にも同じような話が出ていた。コロナ禍が明けると、職場体験で中学生が保育園や幼稚園に来ると思う。小さい子ども直接ふれるとか子どもの匂いとか、子どもふれあう実体験は学生のためになる。園児の数も減っているが、保育士を目指す者の数も減っている。久留米で保育士が増えれば、久留米で子どもが育ち、久留米が子育てしやすい街になり、子どもの命を守ることにつながる。学校の授業にプラスアルファでするのは大変なので、家庭科や人権の授業で行ったり、あれと組み合わせるといいなどアイデアを出したり、タテヨコのつながりを使って取組を行うといいと思う。</p>

議 事 録

委 員	⑨	中長期的にみて、難しいかもしれないが、中学校などの空き部屋を活用し、子育て支援や子育てサロンを実施できたら、中学生と乳幼児がふれあう機会を作れると思う。
委 員 長		児童相談所や警察はどうですか。
委 員	⑩	児童相談所は、新生児の死亡事例や虐待通告を受けることがある。小さい赤ちゃんをどう守っていくか、望まない妊娠を含め、命を守ることを考えている。
委 員	⑪	警察は、施策ものはなかなか対応できないが、薬物乱用や命を守る授業で学校から要請を受けることがある。また、学校などから通報を受け、児童相談所と連携して動いている。
委 員 長		その他、事務局から何かありますか。
事 務 局 (家庭子ども相談課)		【連絡事項】 次回対策委員会は、再々認証の現地審査です。7月31日を予定していますので、よろしくをお願いします。 【閉会】